

わたしの夢 | &lt;第61回&gt; | 赤荻小 |

## 笑顔と感謝を大切に ウェディングプランナーになって 特別な日をサポートしたい



## DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

### 峯井想来さん

みねい・そら  
赤荻小6年

私は児童会長です。赤荻小では、児童会に行ってほしいことや友達への感謝の気持ちを書いた用紙を投函するポストを設け、学校をみんなでよりよくするよう取り組んでいます。好きな科目は体育。体を動かすことが好きで、5歳からモダンダンスを習っています。憧れの人はお母さん。お母さんのような、家事も仕事も両立できるような人になりたいです。将来の夢はウェディングプランナー。特別な日をサポートするやりがいのある仕事だと思っています。夢をかなえるために、普段から笑顔を中心掛けています。

### 編集後記

▼秋空に浮かぶ気球。青空に鮮やかな色のバルーンは、とてもお似合い。美しい、いつまでも見ていたい。取材日の朝、そんな夢を見ていて寝坊するという大失態。なんとか競技飛行に間に合い撮影。現実の空も夢で見た光景と同じく美しいものでした。(伊東吉光)

▼テレビ番組をインターネットで同時に配信するサービスが2019年にも全面解禁するとのこと。便利な反面、媒体の「らしさ」も薄まる。紙、ラジオ、テレビ、ネット。それぞれ住み分けたいのには、と思う今日この頃。(高橋英義)

▼国体の取材。フェンシング競技を担当しました。地元応援を背に、県勢初の優勝を成し遂げた成年男子フルール。勝利を決めた佐々木慶将選手の涙が印象的でした。歴史的な瞬間を撮影することができて、広報冥利に尽きます。(吉住優)

▼東日本合唱祭の取材。出演した合唱団の歌声は壮大で人の声とは思えないほど素晴らしいものでした。文化センターの大ホールは立ち見が出るほどの超満員。「合唱のまち一関」を実感しました。(荻庄瑠子)

